

災害への備えはしてありますか？

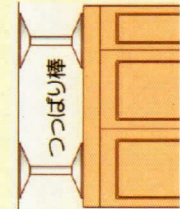
岡山県警察



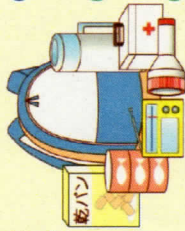
天災はいつ突然あなたの街を襲ってくるかまったく分かりません。

地震・津波・台風・大雨

1 日頃からの備え

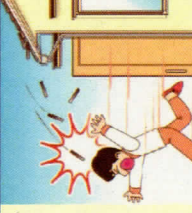


- 地区防災訓練への積極的な参加
- 家具などを固定し屋内の安全な空間を確保
- 近所やご家族で災害時の連絡方法を確認



- 河川・側溝など増水が予想される箇所を熟知
- 非常持出袋を準備し定期点検を実施
- 指定の避難場所・経路を確認

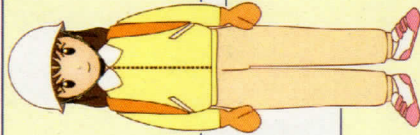
- 揺れを感じたら机やテーブルの下に身を隠す
- むやみに屋外に飛び出さない
- 揺れがやむまで動かさず様子を見る



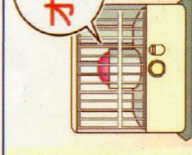
- 窓・戸を施錠して雨戸を閉める
- 非常持出袋・雨合羽・長靴などいつでも持ち出せるよう準備
- テレビ・ラジオ・インターネットなどから正しい情報を入力



2 地震発生したら台風接近



- ガス器具・ストーブの火を消す
- ガスの元栓を閉めて電気器具のプラグを抜く
- 火が出たら状況により初期消火に努力



- 点検など不用意に屋外へ出ない
- 避難の適否を防災無線などの情報から判断

オフ!

3 的確な判断行動

- ヘルメットもしくは防災ずきんをかぶる
- 長袖のジャケットと長ズボンを着る
- 手袋と運動靴など底の平らな靴を
- リュックなど背負えるものに最低限の貴重品・非常持出品・衣類などを準備

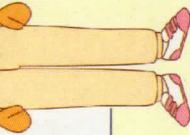
備えあれば

憂いなし!日頃から心がけがとて大切なの。

- 持ち物は最低限にしてなるべく徒歩で避難
- 病人・高齢者の避難は互いに助け合う
- 塀際・狭い路地・川縁には近づかない
- 絶えず情報を入力し周囲の人と共有

オフ!

- 持ち物は最低限にしてなるべく徒歩で避難
- 病人・高齢者の避難は互いに助け合う
- 塀際・狭い路地・川縁には近づかない
- 絶えず情報を入力し周囲の人と共有



- ヘルメットもしくは防災ずきんをかぶる
- 長袖のジャケットと長ズボンを着る
- 手袋と運動靴など底の平らな靴を
- リュックなど背負えるものに最低限の貴重品・非常持出品・衣類などを準備

4 避難する際には

岡山北警察署

緊急の場合は110番

(代表) 086 - 724 - 0110

注意事項

- : 地震・津波の場合
- : 台風・大雨の場合
- : 共通の項目

